



東京日々新聞

八百六十一号

神風の伊勢不隣も志摩の國志高村の農子田島与太郎と
 云者あり其妻は土月十日の朝十時頃より産の解きんら
 十二時頃迄女子三人と産とあり夫婦の飲び大方ありむ能名と
 附んと或識者不商議せし昔白太夫と云る者三男と
 産も賢くも御車挽とありし吉例もあれいとて
 おまのめおめおなけと名づけたる此者成長あり
 糸車取りて家稼と助る糸瀧車走るまき都下不出て営業
 する決して人カ車挽夫と本夫と多すの不幸あるべからば
 此頃縣廳よりも養育金若干と賜りしりとを

人形長台在
 渡辺彫栄

一葉齋
 彫栄

